

臨床研究に関するお知らせ

止血目的で緩和照射を施行した進行性胃がんに対する照射効果の論文化について

当院では進行性胃がんに対する止血目的の緩和照射を 2015 年 10 月から 2026 年 3 月までに 67 名の患者様にご同意が得て実施してきました。患者さんの止血効果を解析し、結果を学術論文に二次利用させていただきたいと考えております。そこで同期間に本治療をお受けいただいた患者様におかれましては、解析結果の二次利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。

【研究内容】

- 演題名 ・止血目的で緩和照射を施行した進行性胃がんに対する止血効果の解析
- 研究責任者 ・三橋紀夫（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 放射線治療科 主任医長）
- 共同研究者 ・茂木 厚（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 放射線治療科 主任医長）・廣島良規（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 消化器内科 主任医長）・神賀正博（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 緩和医療科 副院長）・根本善誉（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 放射線技術科 主任技師）。

【研究の目的と意義について】

当院では 2015 年 10 月から 2026 年 3 月までに 67 名の進行性胃がんの患者様を対象として、胃がんからの出血に対して、止血を目的とした緩和照射を施行してきました。そこで 67 名の患者さんの治療成績を対象として、照射総線量ならびに分割回数の違いによる止血効果ならびに止血の持続期間を評価ならびに解析し、得られたデータを、がん関連の国際学術誌に論文として公表させていただきたいと考えています。

【研究の方法】

本治療にご同意いただいた患者さんの照射記録（照射野、照射方法：照射回数、総線量）また、カルテからのデータ（初診日、依頼元、年齢、腫瘍の進展度（腫瘍の存在部位、TNM 分類、病期分類、病理学的所見）、照射効果（効果の持続期間、生存時間、照射法による止血効果の違い、化学療法の併用の有無）などを抽出し、臨床情報について統計処理を行います。

【研究対象者】

2015 年 10 月から 2026 年 3 月までに前記の治療にご同意いただいた 67 名の患者さん

【個人情報の取り扱いについて】

収集したデータは個人が特定できないように処理を行います。国が定めた 倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。また、データの管理については外部に接続されていない院内の PC にて保存を行います。対象ファイルにおいては研究責任者及び共同研究者のみが管理するパスワードの設定を行い、第三者は閲覧できないような状況下にて管理を行います。

【利益相反に関して】

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者様ご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者様の情報は使用いたしません。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には完全に廃棄できない場合があります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までメール又はお電話にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

【問い合わせ等の連絡先】

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

月～金（8：30～16：30）

放射線治療科主任医長

三橋 紀夫

メールアドレス：norio.mitsubishi.dm@hitachi.com TEL：029-354-5111（代表）